

## 授業のユニバーサルデザイン化の研究 ～伝え方の工夫～

小田原市立千代中学校

### 1 事業の目的

本校は教育目標を「自ら学び、主体的に判断し、行動できる生徒の育成」とし、これからの時代をたくましく生き抜き、未来を拓く力を育てることをめざし、教育活動に取り組んでいる。昨年度より、ユニバーサルデザインの視点と合理的配慮について重点をおき研究を進め、ユニバーサルデザイン化を図るための千代中スタンダードを生徒ともに作る素地ができた。

今年度も研究を継続し、昨年度の成果を生かしつつ新たな視点を取り入れながら研究を進めたいと考えている。学校評議員やスクールボランティア、PTA、地域の方々などと連携を図りながら、ユニバーサルデザイン化のヒントを見いだし、授業づくりに生かしていきたい。様々な視点から千代中スタンダードを確立し、生徒の学習意欲の向上や考え方の多様性が生まれることをめざし、学校教育目標の具現化を図りたい。

### 2 事業の内容

#### (1) 授業のユニバーサルデザイン化にさまざまな面からせまり教育活動を行う

☆「説明（授業の流れ）」「板書」「教材」の3グループに分け、授業のユニバーサルデザイン化を考えていく。（校内研究と連携）

- ・3年間で3つの視点からユニバーサルデザイン化を図る。
- ・互いに授業参観を行い、意見交換をするとともに、講師の方に指導助言をいただきながら改善を図る。

#### (2) 地域の良さを生かした「ふれあい授業」を実践する

☆保護者や地域の方とともに学ぶ「ふれあい授業」を各教科・領域等で実践する。

- ・各地区まちづくり検討委員会が作成した地域別計画を学習教材に取り入れる。
- ・地域の担い手としての自分の生き方を考える、発信する学習を実践する。

#### (3) 地域との協働をめざした学校評議員会のあり方を研究する

☆学校評議員会の運営を改善し、学校づくりへの参画意識を高める。

- ・ワークショップ型会議を行い、学校評議員会の協議を活性化するとともに、出された意見を授業づくりに反映する。

### 3 事業の成果

#### (1) 授業のユニバーサルデザイン化について

「説明グループ」では、少ない言葉で具体的に指示することを心がけ、身近な話題を取り入れながら学習ポイントが明確になるような伝え方の工夫を図った。導入をルーティーン化している教科もあり、生徒が安心感をもって授業に臨んでいる。

「板書グループ」では、1時間黒板1枚分を基本として、ワークシートと板書をリンクさせて生徒が集中できる環境づくりに努めた。

ひと目で授業の流れやポイントがわかり、振り返りやすくなった。

「教材グループ」では、使用する道具の拡大模型による実演や視聴覚機器の積極的な活用を通し、生徒の興味を引きつけながらイメージ化を図った。生徒の取組もスムーズに行え、教え合う姿も増えた。



